2016年1月

書初号

東京歯科大学千葉病院医療連携NEWS
デンタルドットコム

新年挨拶

東京歯科大学千葉病院病院長 井上 孝

新年のお慶びを申し上げます。

昨年厚生労働省に「歯科医師の資質向上に関する検討会」が設置され有識者による議論が重ねられています。私もそのメンバーの一人ですが、これは、これからの高齢化社会に向けて、患者の様々な状態と環境に対応する歯科医師の在り方を問うものです。換言すると歯科医師（歯）中心主義から脱却し、歯科医師の専門性の向上と発揮する場の提供と言っているようにも聞こえます。

日頃、先生方には大変お世話になっている千葉病院ですが、このことを考えると、先生方のニーズに対応できる技術、知識、態度を発揮できる歯科医師を持つ病院でなければならぬと感じております。さらには、先生方の専門性のスキルアップが出来る、そして若い人材の育成の出来る施設でなければならぬと思っています。宜しくお願い申し上げます。

先生方にとって、何事も「猿」滑にいく1年であることを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

東京歯科大学千葉病院副病院長 医療連携委員長 柴原 孝彦

新年明けましておめでとうございます。

先生方におかれましては、清々しい希望に満ちた元旦を迎えられたことと拝察いたします。平素より本学千葉病院との病診連携向上にご尽力いただき誠にありがとうございます。ご紹介いただいた患者様を通して先生方と共に歯科の重要性が社会にアピールできることを大変喜びに感じています。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年は常勤歯科医師数が二年前の約6割に減少しましたが、ご紹介患者数の推移をみますと、4月から11月まで(累計)紹介患者数：5784件、1診療所1か月あたりの件数0.22となり、この上記2つの数字は前年度比+193件、+0.01に匹敵します。大学学務本部の都市回帰にも拘らず、先生方から依然と変わらずご活用いただいている現状をしっかりと受け止め、より一層身を引き締めて精進していく所存です。ただ医療水準を保ちつつも、千葉病院人員の縮小は已む無きことで、患者様対応にご迷惑をお掛けしたことと懸念しております。この点についての改善は病診連携協議会を通して先生方のご意見も頂戴しながら建設的に考えて行く予定ですので、どうぞ併せて宜しくお願いいたします。

専門外来について

歯科麻酔科 講師 松木 由起子

東京歯科大学千葉病院歯科麻酔科外来は、3つの専門外来を有しています。リラックス治療外来、障害者歯科外来Ⅰ、慢性の痛み・しびれ外来となっています。これらの専門外来では保存・補綴・口腔外科・小児歯科など各科の先生方と協力し歯科治療を行っています。

リラックス治療外来や障害者歯科外来での、静脈内鎮静法（または静脈麻酔）で管理する症例は年間約2,500～3,000例あります。また、静脈内鎮静で安全に治療が行えない場合や小児に対しては、日帰り全身麻酔も積極的に行っており、年間約150例となっています。

慢性の痛み・しびれ外来では三叉神経痛をはじめとする疼痛疾患や、顔面神経麻痺やオトガイ神経麻痺などの麻痺性疾患を対象に治療しています。内科と緊密に連携したきめ細かな投薬や、星状神経節ブロックなどの理学療法を組み合わせることにより、年間約2,300例の治療を行っています。

これらの専門外来を含めた歯科麻酔科への紹介患者数は年間約100名となっております。治療担当医が少ない日もある関係で、お手数をお掛けしますが、ご紹介頂く際には必ず電話にて予約をして頂きたいと存じます。

静脈内鎮静法での治療風景

口腔がん集団検診開催予定 安房歯科医師会 3月10日(木) 江戸川区歯科医師会[葛西地区] 3月27日(日)

専門外来への紹介の仕方

◎お問合せの多い専門外来を、シリーズでご説明します。

慢性の痛み・しびれ外来 ～ 歯科麻酔科 ～

慢性の痛み・しびれ外来では、三叉神経痛や顔面神経麻痺などの神経疾患や、口腔顎顔面領域の慢性痛やしびれを対象に治療を行っています。歯や歯周組織に明らかな原因がないにも関わらず、疼痛やしびれがある場合には、早めのご紹介をお願いします。

星状神経節ブロックや投薬などによる治療を内科とも連携しながら行っています。

受診（紹介）方法

先生方には診療情報提供書を作成して頂き、患者さんまたはご家族の方などから歯科麻酔科外来に電話で予約をして頂きます。

初診後は患者さんに今後の診療説明を行い、必要に応じ返書を作成させて頂きます。043-270-3902（歯科麻酔科外来直通）

*予約がない場合大変お待たせしたり、診療できないこともございますので必ずご予約下さい。

診療日：月～土曜日（第2土曜除く）

紹介患者に対する治療の内容の推移